

1. はじめに

1.1 背景と目的

二本松市は、平成 17 年 12 月 1 日に、二本松市、安達町、岩代町、東和町の 1 市 3 町が合併し、地域が拡大したことに伴い、乗合バス路線が 25 路線（生活バス路線 23 路線、自治体バス路線 1 路線及び廃止代替路線 1 路線）、他に福祉交通（福祉バス、福祉タクシー）及び学校交通（スクールバス、学童保育送迎）を運行し、公共交通確保対策を講じている。しかし、近年のモータリゼーションの進展や少子高齢化の進行等により、利用者数が年々減少の一途をたどり、市の財政負担が増大してきている。また、乗合バス事業の規制緩和などにより、バス事業者の生活バス路線からの撤退が懸念されるなど、公共交通サービス環境が大きく変化してきている。

このような環境の中、市民の足である公共交通の確保がいかにあるべきか、将来像のビジョンなどを検討し、市民が利用しやすく持続可能な公共交通となるよう、現状の交通体系の見直しを含めた公共交通計画の策定を行った。

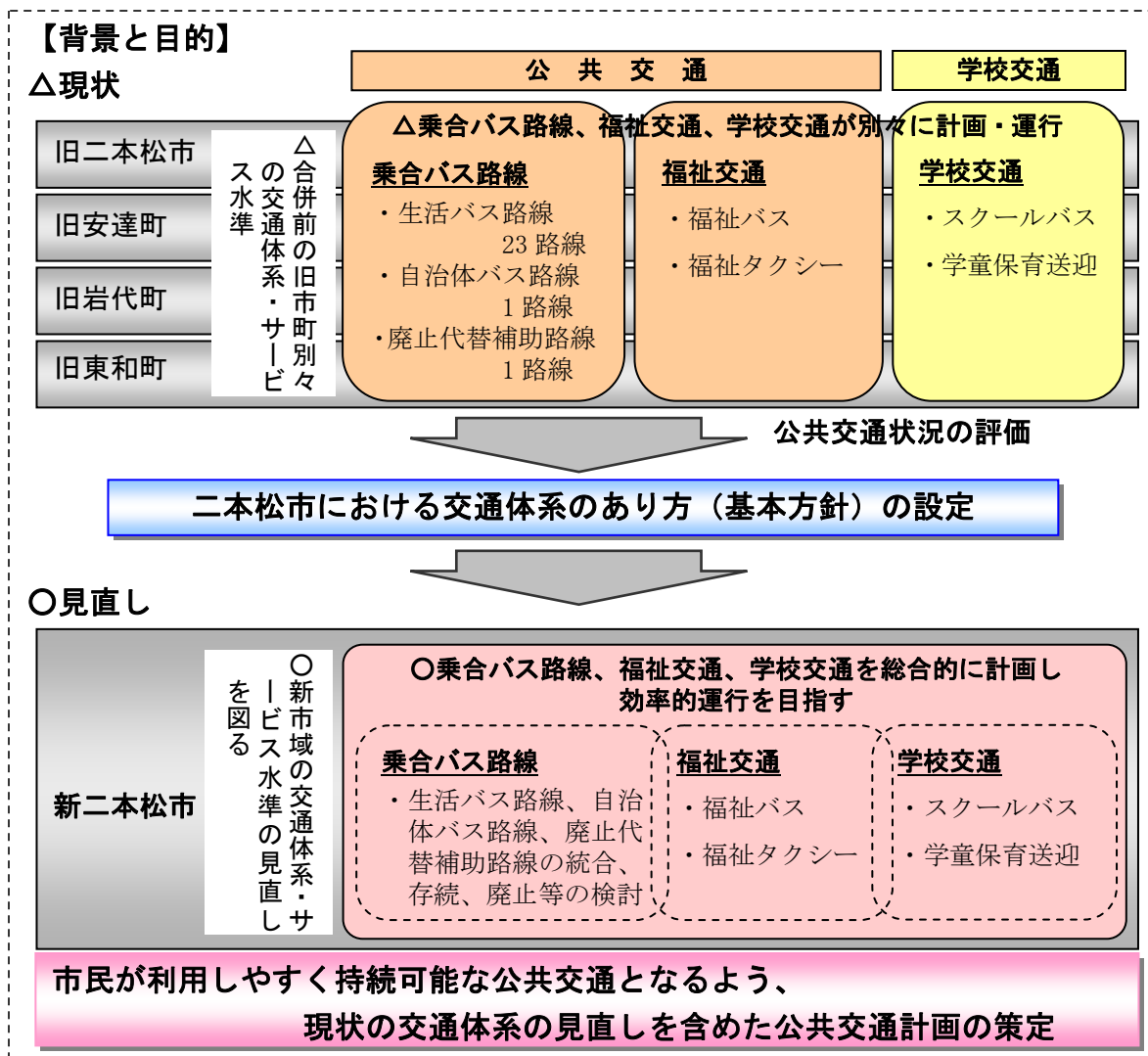


図 1-1 計画策定にあたっての全体像

1.2 調査の概要

- (1) 発注者 : 二本松市総合政策部企画振興課
- (2) 受注者 : 八千代エンジニアリング株式会社
- (3) 業務名 : 二本松市公共交通計画策定業務
- (4) 工期 : 平成19年4月16日～平成20年3月25日

1.3 調査の進め方

公共交通計画策定のための検討は、主に以下の3つのステップで実施した。なお、アンケート調査として、市民、バス等公共交通利用者の意見やニーズを把握するとともに、方針検討においては、地域住民の代表者等との意見交換会や交通事業者関係者会議を開催した。

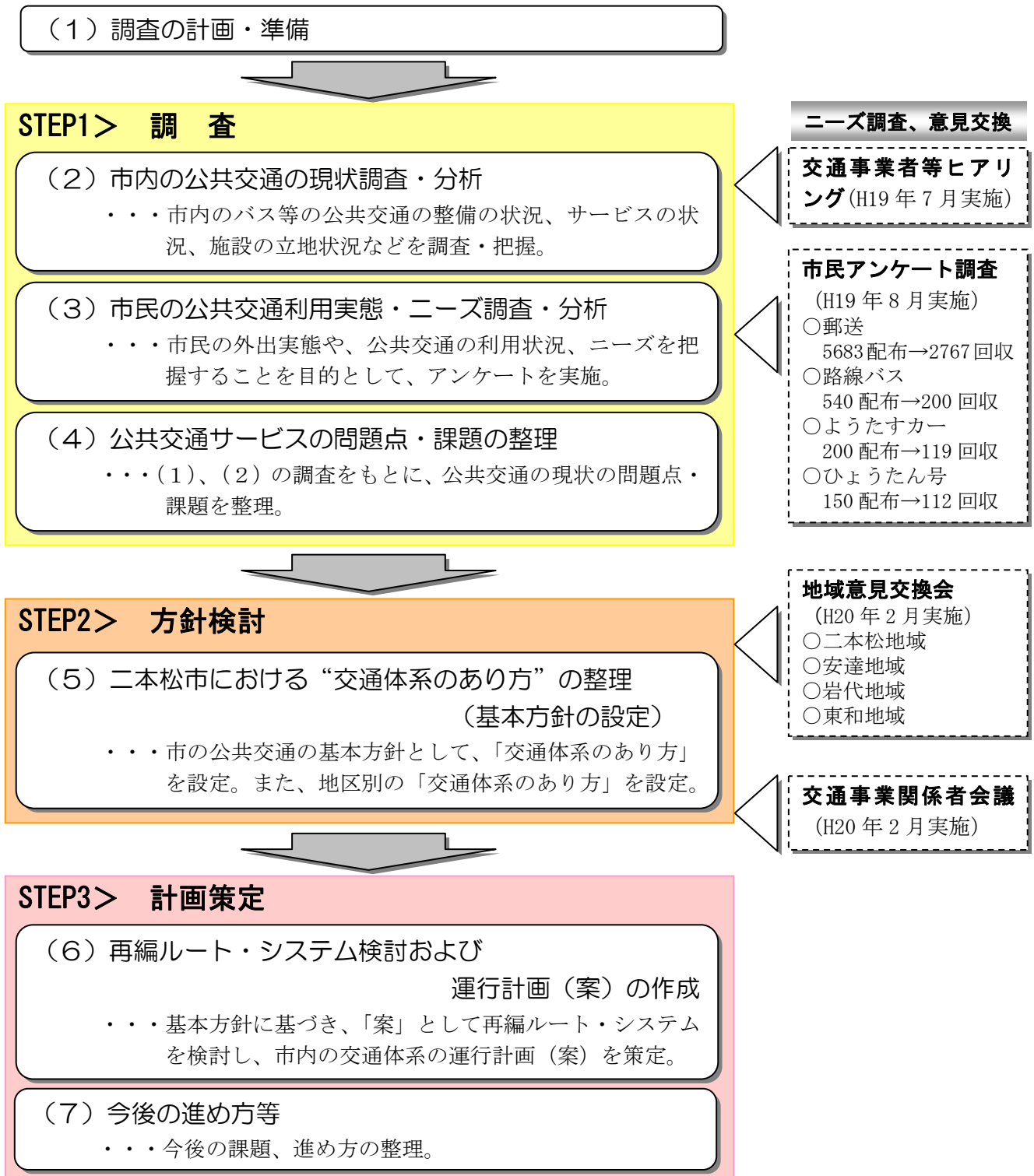


図 1-2 調査フロー